

会 議 録

1 会 議 名

平成 24 年度 第 1 回 天水地域協議会

2 開催日時

平成 24 年 4 月 25 日（水） 午前 11 時から

3 開催場所

文化センター 第 3 研修室

4 出席者・欠席者

〈出席者〉

委 員：上森聖紀、笠久美子、徳山博文、坂西英子、村上通、西浦文子、
田中正司、富田公生、田尻信子、宮部和雄、池田彰孝、村上優一

事務局：本田天水総合支所長、平野総務振興課長、松本総務振興課長補佐
山口総務振興課技術主任

〈欠席者〉

委 員：山本弘憲、池田武、上森繁美

5 会議内容(公開)

議 事

- (1) 会長・副会長の選任について
- (2) ①平成 23 年度天水地域協議会活動実績について
②平成 24 年度天水自治区の主な事業について
- (3) その他

6 議事の概略・協議結果

- (1) 役員の選任について
会 長：池田彰孝
副会長：西浦文子
- (2) ①平成 23 年度天水地域協議会活動実績について
②平成 24 年度天水自治区の主な事業について
- (3) その他
委員からの質疑応答

7 会議資料

- (1) 平成 23 年度天水地域協議会活動実績について
- (2) 平成 24 年度天水自治区の主な事業について

8 傍聴者の数

0 人

9 非公開の理由

—

10 会議録の種類

要点記録

11 発言の内容

(事務局)

みなさん、こんにちは。全体会でお疲れのところ申し訳ありませんが、ただ今より第 1 回の天水地域協議会を開催させていただきます。先ほど委嘱状交付式の際には代表して上森様に、市長より委嘱状を渡ししましたけれども、そのほかの委員様方への委嘱状は、天水総合支所長よりお渡ししたいと思います。

【各委員へ委嘱状を交付】

(事務局)

なお、本日は山本弘憲様、池田武様、上森繁美様があいにくの欠席ということです。よろしくお願いいたします。

それでは議事に入りますが、まだ役員の選任前ですので、天水自治区事務所長である総合支所長に議事の進行をお願いしたいと思います。

(天水総合支所長)

本日は、先程の委嘱状交付式に続きまして、平成 24 年度第 1 回天水地域協議会を開催しましたところ、ご多忙中にもかかわらずご出席いただきありがとうございます。

玉名市も合併しまして 6 年半を経過し、再任をされた委員さん方には諸問題について協議をいただきありがとうございました。

それぞれの地域には歴史、文化があり、地域性がございます。委員の方々には、地域協議会でそれぞれの地域が抱える問題を協議し、意見の集約をいただきまして、市長を始め、市の行政当局に対しましてご答申をお願いしたいと思います。事務局としましても、答申を反映するよう例規の整備や予算の確保等、円滑な事業の実施に努めてまいりますので、皆様方のご支援とご理解をよろしくお願いいたします。委員の皆様におかれましては、ご多忙の方ばかりではありますが、天水地区のため、玉名市のためにお力添えを賜りますよう、お願い申し上げまして挨拶いたします。

それでは、会長及び副会長の選任に移ります。地域自治区の設置等に関する条例第 10 条にございますが「地域協議会に会長及び副会長それぞれ一人置き、委員の互選により定める」という決まりでございます。まずは、会長から決めさせていただきます。どなたか会長にという方いらっしゃいませんか。

(委員)

これまでの経験を踏まえまして、池田彰孝さんに会長をお願いできるならと思います。

(天水総合支所長)

それではですね、村上委員より池田委員を会長にという意見がございました。事務局といたしましても、昨年より再任されています池田武さん、村上通さん、田中正司さん、そして池田彰孝さんの 4 人でございましたので、よければその中から会長さんをお願いしたいと考えてましたところ、推薦がありまして、池田彰孝さんを推すということによございますか。

【 一同拍手 】

(天水総合支所長)

それでは、会長を池田彰孝さんでお願いします。つづきまして、副会長はですね、池田彰孝さんに推薦してもらってよございますか。

(会長)

前回の副会長は女性の方だったので、女性の方がいいとじゃないですかね。それでは、西浦さんをお願いしてよかですかね。

【 一同拍手 】

(天水総合支所長)

それでは、会長を池田委員、副会長を西浦委員にお願いしたいと思います。

【 一同拍手 】

(天水総合支所長)

会長、副会長よりよろしければ、一言お言葉をお願いします。

(会長)

皆様方の推薦で大変重い荷を受けることになりましたが、会長として天水地区の地域協議会として、頑張っていけないといけないなと気持ちを新たにしましたところでございます。皆様方のご協力で 2 年間無事に進められるようひとつお願いを

申し上げます。お世話になります。

(副会長)

池田会長の推薦によって選ばれました西浦でございます。天水にある文化財、夏目漱石、草枕といろんな観光資源が一緒になって、文化だけでなく薬草などいろいろなものを合わせて、天水が活気づくよう頑張っていきたいと考えています。よろしくお願いします。

(事務局)

では、第 1 回の地域協議会の会議録を作成しますが、会議録の署名人については、会長の指名によることとなっております。会長より 2 名の指名をお願いいたします。

(会長)

会議録の署名人の指名をいたします。勝手に申し訳ありませんが、男性から村上優一さん、女性から坂西英子さんをお願いします。

早速でございますけれども、議事に入りたいと思いますがよろしゅうございますか。「平成 23 年度天水地域協議会活動実績について」並びに「平成 24 年度天水自治区の主な事業について」を議題といたします。事務局より説明をお願いしてよろしいですか。

(事務局)

【平成 23 年度天水地域協議会活動実績について資料に沿って説明】

(会長)

続けて「平成 24 年度天水自治区の主な事業について」をお願いします。

(事務局)

【平成 24 年度天水自治区の主な事業について資料に沿って説明】

(会長)

では、23 年度の活動実績と 24 年度の計画を説明していただいたわけであります。23 年度におきましては 3 回の会議がありまして、以上のような案件を協議されているというようなことであります。事業等については行政の方から説明をいただきまして、いろいろな諮問・意見等を伺うというような形で、今までされてきた

ようであります。23 年度並びに 24 年度の事業につきまして、皆様のほうからご質問がありますならばお伺いしたいところであります。それに対しまして、事務局のほうからご回答いただきたいと思いますのですがよろしゅうございますか。何かございませんか。

(委員)

23 年度は 3 回ほど会議をされているようなのですが、会議は普通 3 回くらいなんですか。

(天水総合支所長)

これは各課から報告や諮問等があった場合に行うので、何回とは決まっております。

(委員)

私たちはせっかく委嘱を受けたんだから、後期計画が出ているわけだし、一度精査して天水でできる提言などを、ある程度 1 年間でまとめるような計画を当初からやっていったらどうだろうか。こういうのを精査する会議をやったらどうかと思うのですが。おそらく予算が絡むから、実行には難しい場合があると思いますが、やらないことにはそれまでだから、できる限りの提言をやるならと思いますがいかがなものでしょうか。

(会長)

今意見が出ましたが、事業に対しまして前年までは下水道事業問題が出ていましたが、どのように進展しているかがですね。

(委員)

進展はしているんですけども、結果としては実行とまではいっておらず、アンケート調査をやってますけど、そのあとの結果としては報告は受けておりません。

(会長)

地域協議会からもいろいろな要望をされております。行政のほうもどのように対応していくかという状態だと思います。要望や計画がありますように、新しい委員さんたちですので、行政のほうから説明をもらって、それに対しての委員さんの意見もあるかと思います。1 回そういったものに取り組んで、協議会を開いてはと思うのですがいかがでしょうか。

(委員)

条例の中で我々には報酬はないですよ。だからと言ってしないならしないでもいいというわけではなくて、委嘱を受けた以上は会議等を開いて精査しながら、1年間の答申を拾い出していくな、いい提言ができると思うんですよ。今後は天水からできれば横島、岱明、玉名とかなりいい協議会になると思います。ただ絵に描いたような地域協議会じゃなくて、実のある協議会になったらなど、新しい会長、副会長のもとでやっていけたらと思うのですがいかがなものでしょうか。

(会長)

天水自治区が、ひとつの玉名市の基本改革となるような提言をし持っていくならば、非常にいいことではないかと思います。特に、行政のほうとしても、支所の職員がだいぶ減るというような話を聞いております。総合支所が支所ということになりますと大変だろうと思います。それと、新しい玉名市役所が市民会館のほうに行くと、交通のアクセスがどういうふうになるのか。行政のほうへのいろいろな要望あるいは事務等の手続きも総合支所で大概対応できて、職員さんが本庁に持って行かれるわけですが、今後そういうものがなくなって直接市役所に持っていくということになれば、交通面でも非常に時間がかかるだろうかと思います。そういうふうなものに対してのいろいろな取り組みも考えていかなければと思います。ひとつの総合計画を基に、精査しながら取り組んだらばと思います。そういう点についても頑張っていけたらと考えています。

(委員)

ちょっといいですか。この策定ができていますよね。去年7月11日の計画策定の中で、天水地域協議会に協議会委員へ提言のお願いという形で出されておりますけれども、これは説明をしたということは、提言のお願いということで定義するわけでしょ。

(会長)

これはですね、7月11日に市役所の企画経営課のほうから、地域協議会に説明しに来られたという状態ではなかったかと思います。この基本計画をこういうふうな形で策定しますと、本庁のほうでも、これに対しての協議をして、製本するというような状態ではなかったらいいかと思います。

(委員)

質疑応答の中で、天水町としての提言はされているわけですよ。

(会長)

提言はですね、住民のほうからの提言もおそらくされているはずです。

(委員)

いやいや、先ほど村上委員のほうからこれを勉強して、もう 1 回提出したらどうかと意見があったけれども、すでにされているのにされた上で後期基本計画が出来ているのに、またそれに意見をというのはいかがと思ったものだから。

(会長)

一応ですね、計画書そのものは策定ができております。この中身をそういうふうな状態で今から取り組んでいくかということを、市役所のほうから来て話をしてもらえばと、これに対しての意見を述べていけたらと思います。

(委員)

この後期基本計画を見直せというわけではないですよ。この計画に付随するいろんな関連の事業があるわけですね。そういうふうに予算が絡むんだったら、なかなか簡単にはいかない。1 回答申したからといって簡単にはいかない。そういうのは継続して、細部に渡る要望とか答申をしていくわけです。大きいのがこういうふうに出ているから、大枠の予算は組んであるわけですね。その中で細部に渡るところで、私たちの出来るところで詰めていく、そういう切磋をですね、この後期基本計画を見て学習していくことは必要じゃないかと思うわけです。

(委員)

あの一、すみませんがここで失礼させていただきます。申し訳ないです。

ちょっと一点だけよかですか。天水のことではないんですけど、私通勤するとき伊倉の町中を通るとですよ。あそこ通学路なんですよ。で、交通指導の方も立っておられるけど、全くしなはらんです。警察の人も交通指導の人も全くしなはらん。車が渋滞していようがそうでなかろうが全くしなはらん。大型車がものすごく通るとです。ちょうど私も通学時間帯に通るわけですけど、大型車がものすごく通って、とても危険です。その一点だけどうしても伝えといたくて。

本当に申し訳ありませんが失礼します。

(会長)

それは、すぐに連絡して対応してもらわんといけんですね。

(委員)

次いいですか。私はですね、唯一公募で参加した者です。

私は、昨年の4月に東京から移住してきた者です。もとは伊倉出身で高校まで玉名にいて、21年ぶりに帰って来ました。私はなぜこのタイミングでここにいるかというと、原発事故の影響で、日本は今大きな転換期にきていると思ひまして、経済成長ありきの信用が崩壊したと。僕には想いがあって、今九州に多くの技術者がやって来ています。僕は実家が玉名にあったもので、玉名に帰ることができましたけれども、僕の仲間とかいろいろな方たちは、阿蘇だったり、熊本市内だったり、いろいろな所に避難しながら移住を決めています。皆さん腰を据えられる所を探していらっしゃるんですけど、私は今個人的にNPOを立ち上げようとしていて、移住者支援をしていこうと思っています。今僕が住んでいる野部田もそうですが、どんどん過疎化していて、農業をやる方たちが少ない。実は今都会のほうでは、農業をやりたいという人たちが増えているわけですよ。今回のような事故の後に、特にできるだけ自然に近い農作物、安全・安心な農作物を作りたいという意識を持った人たちが非常に増えて、そういった人たちが九州を目指して移動している。こういった人たちをどんどん町に呼び込んで、地域の活性化をするという大きな流れが潜在的にあるんですけど、一般的にはあまり知られていないんですね。今、8名ほど玉名に移住して来ています。一度も全く玉名に縁がなかった、熊本に縁がなかった人たちが、東京生まれ、東京育ちの人たちが、すでに8名玉名に移住してきて、私はそういう人たちと一緒にですね、地元の農家の人たちと交渉して不耕起の田んぼや畑を借りて、早速耕したりして始めています。石貫に理解のある地主さんがいらっしゃったので、石貫を中心にやっているんですけども、せっかく天水に住んでいるので、天水でもそういった活動ができないかと思って、今回そういった想いもあって地域協議会に参加させていただいたんですね。僕はこれからどんどん提言して行ってですね、地域・町おこし、玉名市自体を新しいといいますか、救援者をどんどん受け入れながら、従来の農業とは違って、自然農法とか有機農法とかあってますけれども、クオリティーの高いものを特産としてやっていけるような動きができれば、玉名あるいは熊本をもっともっと充実した形で自給率を高めて、文化としても大成していくんじゃないかと。やはり思うのが、ここに越してきて1年経つんですけども、外から見ないと見えてこない宝っていうのはいっぱい眠っていてですね、ずっと住み慣れてしまっていると全く分からない。でも、僕たちからみるとすごく勿体ないものっていうのがいっぱいあるんですね。そういった意味でも、移住者をどんどん受け入れていくというのは、地域の活性化にももの凄く貢献するし、そういう流れを作っていく立場にあるなということで、是非地元の人たちとも仲良く共存しながら、こういう動きを作っていきたいなという思いでここに来ています。

(委員)

我々は井の中の蛙みたいな感じがあるけれども、ほかから入って来られた方って見えないところに気付かれたりするから、頑張ってこういった観点からどんどん意見を出していただければ、協議会としても活発にやれると思います。

(会長)

農業だけでなく漁業あたりでも、そういった取り組みがなされているので、視野を広く考えていけたらなと思っております。

ほかに何かございませんか。ないようであれば、これで終わりたいと思います。それでは長時間にわたりまして、大変お疲れ様でした。これで第 1 回の地域協議会を閉会いたします。

【 終了 】

12 問い合わせ先

玉名市天水総合支所 総務振興課 TEL 0968-82-3111